

ワンランク上のシーラー

卓上シーラー・両面ヒーター式

NL-202JW-10

取扱説明書

このたびはシュアーシーラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に保管してください。

- 01 各部の名称
- 02～03 安全上のご注意
- 04 使用上のご注意
- 05～06 正しいご使用方法
- 07～08 保守点検
- 09 故障かなと思ったら
- 10 仕様
- 10 補修部品
- 10 アフターサービスについて

SU
REシュアーお客様ご相談センター
048-931-3110〒340-0807
埼玉県八潮市新町9
受付時間：
月～金の9時～12時 / 13時～17時
※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

株式会社 石崎電機製作所

<http://www.sure-ishizaki.co.jp>

ワンランク上のシーラー 検 索

東日本営業所

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15
tel.03-5687-7031

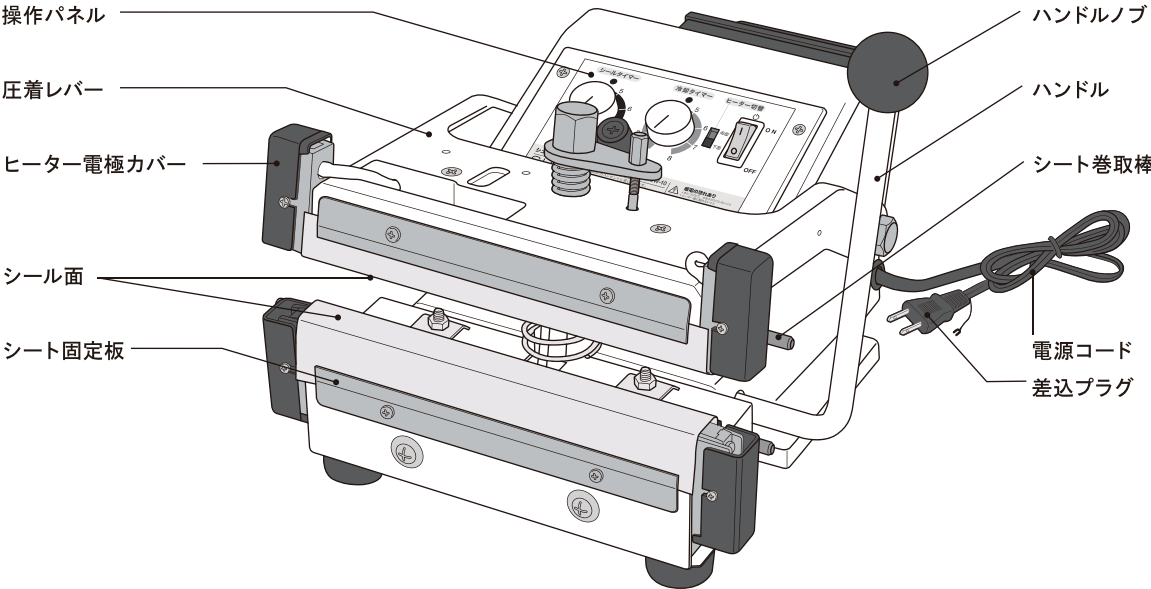
西日本営業所

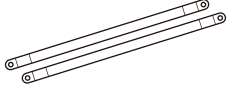
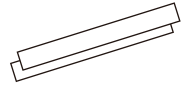
〒550-0013
大阪市西区新町1-25-7
tel.06-6541-3893

本器は両面（上下）加熱式でお茶袋、コーヒー豆などのガセット袋を熱溶着で瞬時に行える瞬間通電式の手動式包装機です。

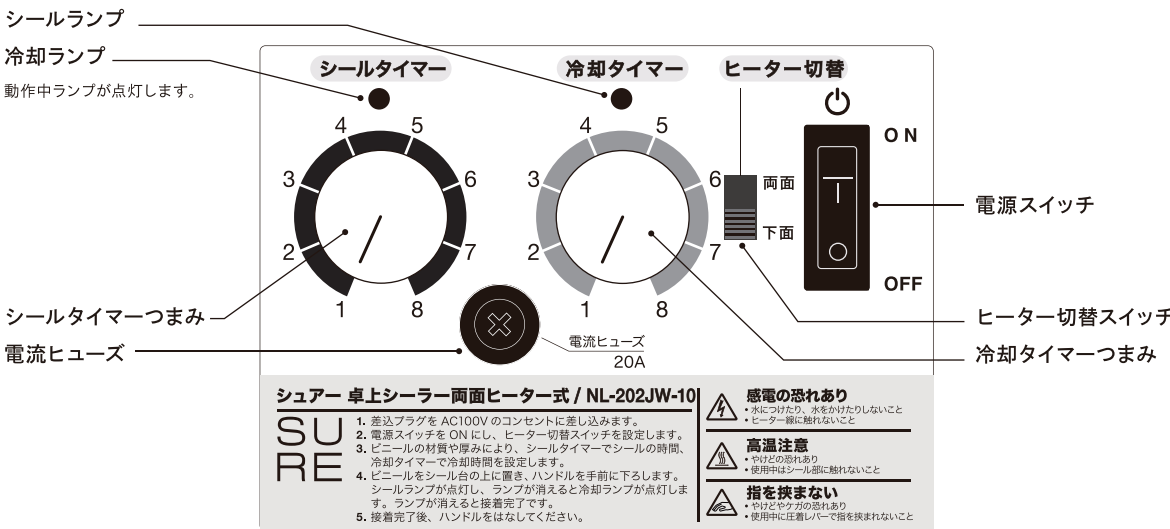
卓上シーラー・両面ヒーター式 / NL-202JW-10

各部の名前



付属品			
			
ヒーター	2本	フッ素樹脂絶縁粘着テープ	2枚

操作パネルのみかた



安全上のご注意 (その1)

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠ 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペット等に係る拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。



強制(必ずすること)を示します。
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理を行わない、また改造しない。
感電、漏電、異常動作による事故やけがの原因になります。



分解禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

火薬・揮発性引火物・燃えやすい物のあるところでは使用しない。
火災、爆発の原因になります。



禁止

ヒーター部にドライバーなどの金属物で触れない。
感電の原因になります。



禁止

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。



必ず行う

- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - ・コゲくさい臭いがする。
 - ・電源コードや差込プラグが異常に熱い。
- などの症状が出たら、すぐに販売店または「シユアーお客様ご相談センター」へ点検・修理を依頼してください。

交流100Vのコンセントを単独で使う。
他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火、やけどの原因になります。



必ず行う

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。



必ず行う

水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。



水濡れ禁止

ショート・感電の原因になります。

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
ショート・感電の原因になります。



濡れ手禁止

安全上のご注意 (その2)

注 意

本器は定められた使用目的(ビニール袋の溶着など)以外では使用しない。

取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



禁止

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

使用中や使用直後はシール部に触れない。

シール部は高温のため、やけどの原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。

コードの異常発熱や破損により火災、感電、けが、やけどの原因になります。



禁止

不安定な場所では使用しない。火災・発火・転倒の原因になります。



禁止

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。

感電・ショート・故障の原因になります。



プラグを抜く

通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。やけど・落下によるけがの原因になります。



禁止

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・誤動作・火災の原因になります。



必ず行う

圧着レバーとシール面の間に腕や指を挟まない。やけど・けがの原因になります。



禁止

フッ素樹脂絶縁シートが破損したまま使用しない。感電、やけどの原因になります。



禁止

落下したり、破損した場合は差込プラグを抜き、修理の依頼を行う。感電、やけどの原因になります。



必ず行う

ヒーター線やフッ素樹脂絶縁粘着テープの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。

感電、やけどの原因になります。



必ず行う

お願い

シールの本作業の前に、必ず同等の袋などでシールテストを行い、各種設定の確認を行ってください。

タイマーの通電時間の調整を行い、溶着具合を確認してください。

材質・厚さ・重ね枚数によってはシールできない場合があります。

フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴムは傷んだまま使用しないでください。

ヒーター線が断線したり、シールが不安定になり、シール不良となります。

ヒーター線、フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴムは消耗品です。

ご使用前に必ず状態を確認していただき、劣化したり、消耗している場合は、新しいものと交換してください。

圧着レバーの圧着シリコンゴムの表面、シール面はつねに清潔にしてください。

ゴミ、汚れなどの付着物、傷、へこみなどがあるとシール不良となり、きれいにシールができません。

連続使用の場合は定期的に本器を休ませてください。

内部機器(トランスなど)が発熱し、本体が熱くなります。各部品の寿命が著しく低下しますので、本体が冷めるまで休ませてください。

必ず定期点検を行ってください。

使用頻度が約3～5万回、または1年に1度を目安に点検を行ってください。

使用上のご注意

ご使用の開始前に必ず設置場所の安全性、本器の各部の点検、通電テストを行い、異常がないことを確認してください。

万が一異常が発見された場合は、修理技術者の方が修理を行うか、お買い上げ店、または、弊社の「シユアーお客様ご相談センター」にご連絡ください。

使用上のポイント

● シールタイマー及び冷却タイマーの設定は材質、厚さなどにより異なりますので必ずシールテストを行ってから設定してください。

● ビニールフィルム等の材質や厚さを考慮してヒーターの切替(両面または下面)を行ってください。

● シールタイマーの設定が短いとシール部は弱くなります。また、長くとシール部が溶けて均一にできません。シールテストの最初は短めに設定し、シール状態を見ながら適正な数値を設定してください。

● 冷却ターマーはシールタイマーと同等の数値を設定してください。
例：シールタイマーが「3」ならば、冷却タイマーも「3」に設定してください。

● 圧着レバーは、シール終了時シールランプが消え、冷却ランプが点灯し、その後消灯するまで、シール面を押えてください。シール面が均一にきれいに仕上がります。

● 本器の両面(上下)のシール面は常にきれいな状態にしてください。汚れている、焦げている、傷ついたりしていると十分な溶着が出来ません。

● 連続して作業を行うときは、余熱が徐々に加わりシール面が不安定になる場合があります。シール間隔をあける、シールタイマーを短くするなどの対策を行っていただくときれいにシールが出来ます。

● ヒーター線は専用設計です。必ず指定のヒーター線をご使用ください。また交換時は両面(上下)2本同時に交換してください。

● 前回と同じ設定でも周囲の環境条件によりシール状態が変化します。必ずテストを行って適切な数値の設定をしてください。

● 本器は瞬間的に電流を流し、ヒーター線を発熱させビニールフィルムをシール(熱溶着)する機器です。目的に沿ったご使用をお願いいたします。

正しいご使用方法

ご使用前に：

本器は両面加熱式シーラーでお茶袋、コーヒー豆などガゼット袋の熱溶着を瞬時に
行える瞬間通電式です。溶着可能な袋の厚さは次の通りです。

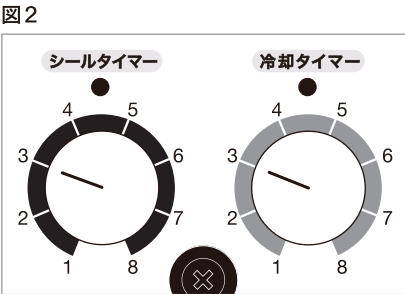
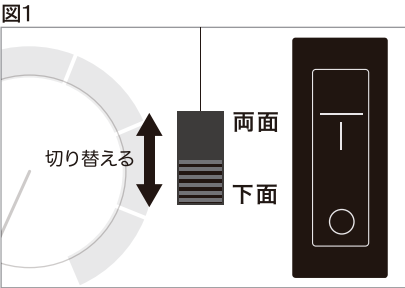
袋の材質 ヒーター	ポリエチレン(PE)	ポリプロピレン(PP)	その他のラミネート
両面ヒーター	0.6mm 以下	0.4mm 以下	0.5mm 以下
下面ヒーター	0.3mm 以下	0.2mm 以下	不可

注：数値は重ね合わせの合計です。電圧、袋の材質により変わることがあります。

注：両面ヒーターで薄い PE、PP 袋(厚さ 0.03mm 程度)は溶着できません。

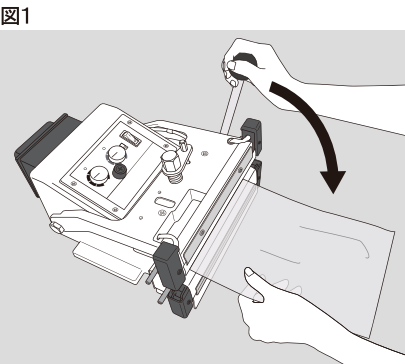
事前準備：

01. 本器を安定した場所に設置します。
02. 差込プラグを交流 100V のコンセントに差し込みます。
03. 電源スイッチを ON して電源を入れます。
04. ヒーター切り替えスイッチを設定します。(図1)
「両面」：ガゼット袋、アルミラミネート袋、厚手のビニール袋の溶着に適しています。
「下面」：薄手のビニール袋に適しています。
05. タイマーを設定します。(図2)
「シールタイマー」：熱溶着時間の設定を行います。
「冷却タイマー」：シール後の冷却時間の設定を行います。
シールタイマーと同じ数値を設定してください。
シールタイマーで通電時間が短い「1」から順にテストを行い、最適な時間を設定してください。例えばシールタイマーつまみが「3」の場合、冷却タイマーも「3」に設定します。



接着(シール)する：

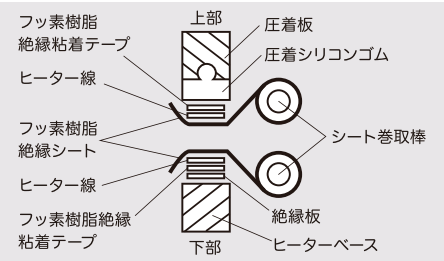
01. ビニール袋のシールする部分をしわにならないように本器のシール面に置きます。
02. 片手でビニール袋を持ち、もう一方の手でハンドルノブを手前に降ろすと、圧着レバーが同時に下がります。(図1)
03. 圧着レバー上下のシール面がビニール袋を押さえ、さらにハンドルノブを最下点まで押し下げると、シールランプが点灯し設定された時間がヒーターに通電されます。
04. 通電が終わるとシールランプが消灯し、冷却ランプが点灯します。
05. 冷却ランプが点灯中はハンドルノブを押し続け、消灯したらハンドルノブをゆっくり最初の位置に戻します。
06. シールされた袋を取り出します。
07. 次の作業まで 15 秒以上の時間をあけてください。
連続運転すると、本体が熱くなり溶着がきれいにできない場合があります。



作業後：

01. 電源スイッチを OFF にし、差込プラグをコンセントから抜きます。
02. シール面が完全にさめるのを待ってから保管します。
03. シール面が汚れていたら、布などでふき取ってください。

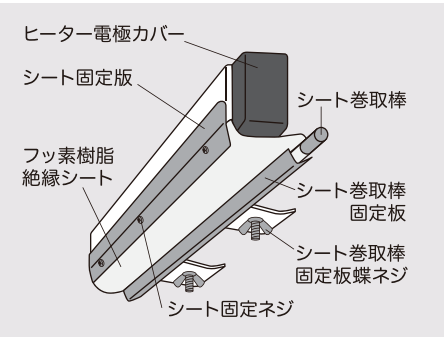
作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、
使用直後のときは本器が十分に冷めてから行ってください。
シール面の構造は右図のとおりです。
消耗部品交換のときは、図のとおりに取り付けてください。



フッ素樹脂絶縁シートの位置変更と交換

フッ素樹脂絶縁シートが黒く変色する、破けた、波を打っているなどの症状がでたらシートの 位置を変更してください。

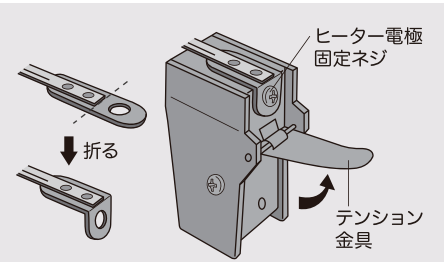
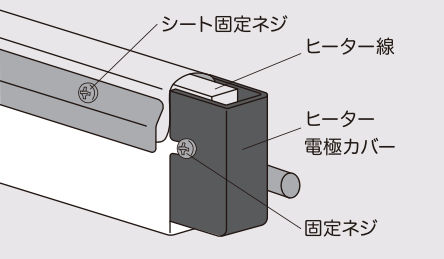
01. シート固定板のシート固定板ネジを緩め、フッ素樹脂絶縁シートをシート固定板から外します。
02. シート巻取棒固定蝶ネジ(下面はナット)を緩め、フッ素樹脂絶縁シートを手前に引き出し、劣化したフッ素樹脂絶縁シートを切り取ります。
03. 引き出した新しいフッ素樹脂絶縁シートをシート固定板に挟み、シート固定板ネジで締めて固定します。
04. シート巻取棒を回してフッ素樹脂絶縁シートを均等に張り、シート巻取棒固定板をシート巻取棒固定蝶ネジで固定します。
05. フッ素樹脂絶縁シートがなくなったら、新しいフッ素樹脂絶縁シートをシート巻取棒に巻き付け03、04の方法で取り付けます。



ヒーター線交換

ヒーター線が切れた、波を打っている、シールが汚いなどの症状がでたら交換してください。

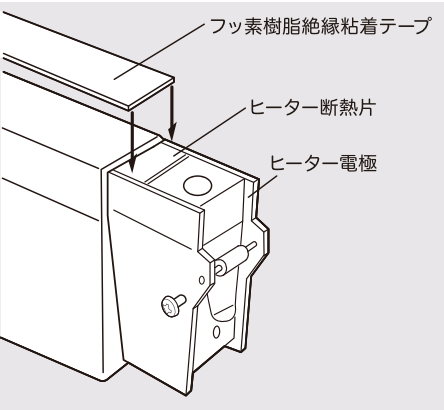
01. フッ素樹脂絶縁シートを取り外します。
02. ヒーター電極カバーの固定ネジ(両側)をゆるめヒーター電極カバーを引き抜きます。
03. テンション金具を90度程度起こし、ヒーター電極固定ネジを外し、ヒーター線を外します。
04. 新しいヒーター線を図のように折り曲げ、ヒーター電極固定ネジで取り付け、テンション金具を元の位置に戻します。
注: ヒーター線の上下の向きは端子部が下にくるように取り付けてください。
05. ヒーター電極カバーの固定ネジ(両側)でヒーター電極カバーを固定します。
06. フッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。



フッ素樹脂絶縁粘着テープ

フッ素樹脂絶縁粘着テープが黒く変色する、破けた、ヒーター線がよく切れるなどの症状が出たら交換してください。

01. フッ素樹脂絶縁シートとヒーター線を取り外します。
02. 古いフッ素樹脂絶縁粘着テープを引き剥がし、新しいヒーター線と交換します。
注1: 本器に粘着テープの糊が残る場合がありますので、きれいに拭き取ってください。
注2: 粘着テープを剥がすとき、ヒーター断熱片と一緒に外れる場合がありますので、外れた時は元に戻してください。

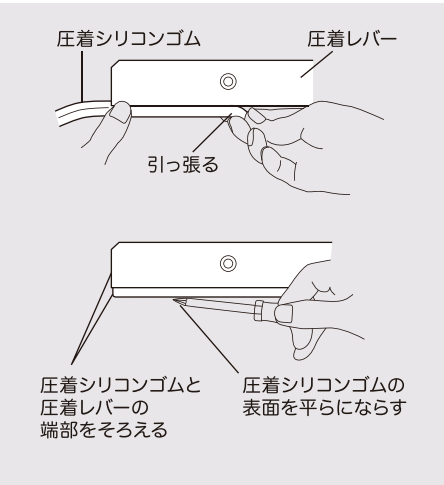


03. ヒーター線とフッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。

圧着シリコンゴムの交換

接触面が変色する、凹凸面になる、シール面が汚いなどの症状が出たら交換してください。

01. フッ素樹脂絶縁シート、ヒーター線、フッ素樹脂絶縁粘着テープを取り外します。
02. 圧着シリコンゴムを取り外し、新しいものを取り付けます。
圧着シリコンゴムを圧着レバーの溝に押し込み、先端を少し溝から浮かしながら一方の端まで引っ張ります。
03. 圧着レバーよりはみ出た部分は、ドライバーの軸部などの丸棒で力を入れて中央に寄せるように動かし、端部をそろえます。また、表面が波打っていたら丸棒を左右に動かし表面を平らにします。
04. フッ素樹脂絶縁粘着テープ、ヒーター線、フッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。



故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表をみながらもう一度お調べください。
※マークが付いている部品は修理技術者の方が行い、それ以外はお買い上げの販売店または、弊社までご相談ください。

症 状 調べる ところ	電源ランプが点灯しない	点灯しない シールランプ・冷却ランプが	シールランプ・冷却ランプが 切れず、ヒーターが焼ける	シールランプ・冷却ランプは 点灯するが、ヒーター線が 熱くならない	ヒーター線が断線しやすい	シールがきれいにできない	原 因 / 処 置
※電源コード	●	●					断線の場合は修理依頼してください。
※差込プラグ	●	●					プラグの根元を確認し、断線、破損の場合は修理 依頼にしてください。
※ハンドル		●					マイクロスイッチが動作しないときは修理依頼し てください。
※マイクロスイッチ		●					「カチッ」と音がしない場合、通電しない場合は修理の依頼を してください。
※シールタイマー		●	●	●			タイマー組を交換してください。
※冷却タイマー		●	●	●			タイマー組を交換してください。
タイマー目盛					●	●	シールタイマーつまみ、冷却タイマーつまみを回 し時間を調整してください。
ヒーター線				●	●	●	ヒーターの上下の向きや、キズを確認してください。
ヒーター電極				●			ヒーター電極固定ネジが締まっていることを確認 してください。
フッ素樹脂絶縁 粘着テープ					●	●	交換してください。
圧着シリコンゴム					●	●	焦げて固くなっていたり、キズ、凹凸があれば 交換してください。
フッ素樹脂 絶縁シート					●	●	汚れ、穴あき、変色があれば新しいシートを 引き出してください。
作業状態					●	●	シール長さに合った袋を使用してください。また、冷却時間を多く とってください。注)1
※電源ヒューズ	●						修理依頼してください。(点検、修理後に部品交換になります)

注1：シールする袋が短く部分的にシール面にあたるときは、毎回袋の位置を変えてシールしてください。

仕 様

型 番	定 格	シール寸法 幅×長さ	タイマー時間(秒)		製品寸法 幅×奥行き×長さ	質 量	付属品
			シール	冷却			
NL-202JW-10	100V-1200W 50/60Hz	10×200mm	0.3～1.5	0.3～3.0	330×370×275mm	13 kg	ヒーター線：2本 フッ素樹脂 絶縁粘着テープ ：2枚

補修部品

補修部品

商品名	ヒーター線	フッ素樹脂絶縁 粘着テープ(定寸)	フッ素樹脂絶縁 粘着テープ(巻き) 18mm 幅/3m 1巻入	消耗品交換セット ・ヒーター線 2本入 ・フッ素樹脂絶縁 粘着テープ(定寸) 2枚入	フッ素樹脂絶縁シート 1枚入	圧着シリコンゴム 1本入
型式	NPH-202JW-10	NPN-202JW	NPN-T2	NPS-202JW-10	NPT-202JW	NPG-202JW

アフターサービスについて

- 修理・お手入れなどのご相談は、お買い上げの販売店へお申し付けください。または、シュアーお客様ご相談センターへお申し付けください。
ご連絡されるときは、本器の型番・不具合の内容とお使いの状況をお知らせください。
- 補修用性能部品の保有期間は生産打ち切り後5年です。
注：性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。